

一九五七年
八月二十五日
印刷
發行



第40卷 第5号

史学・地理学・考古学

土佐藩における討幕運動の展開 ……………池田敬正(1)

南部の再建とネグロ ……………山岸義夫(27)

——伝統的再建史解釈への一批判——

銀差の成立をめぐる ……………岩見宏(56)

——明代僑役の銀納化に関する一問題——

書評と紹介

農村史料調査会：新田地主の研究 ……………高沢裕一(75)

小沼勇：日本漁村の構造類型 ……………島田正彦(77)

佐藤進一・池内義資：中世法制史料集第二巻 ……………田中稔(80)

学会消息・大会予告・例会予告

史学研究会

京都大学文学部内

京都大学文学部東洋史研究室
東洋史研究会

振替口座京都三七八号

史学研究会大会 予告

左の日程で本会及び読史会・東洋史談話会・西洋史読書会連合大会を開催いたします。多数御参加下さいませよう御案内申上します。

△十一月一日(金) 午前八時半〜午後五時

見学 京都の庭園観賞

修学院離宮・三千院・大徳寺・東本願寺積穀邸(以上、バスにて巡回。終了後簡単なパーティーを開く予定)

会費 四〇〇円程度(パーティー費とも)

※参加御希望の方は、氏名、年齢、官職名御明記の上、会費を添えて十月十日迄に御申込下さい。当日御申込の受付は致しません。尚、都合により見学場所に若干の変更があるかも知れません。あらかじめお含みおき下さい。

△十一月二日(土) 午後二時より

史学研究会大会及び総会 京都大学法経第五教室

(講演) 立山信仰に関する史的考察(スライド使用)

ギリシヤ文化の生成(仮題)

高 瀬 重 雄氏
村 田 数 之 亮氏

△十一月三日(祭) 午前九時より、

読史会・東洋史談話会・西洋史読書会各大会及び晩餐会

※地理学談話会は、当日日本地理学会・人文地理学会共催の大会が立命館大学で開かれますので本年に限り大会を開催いたしません。

(備考) 詳細なプログラムは十月下旬にお送りいたします。会員の方で大会出席のため、公用出張依頼状の必要な方は、なるべく早く本会宛御申出下さい。

会員各位

史 学 研 究 会

に立ちえない武士層も、政府反対派に廻るであろう。すなわち幕藩領主的立場を墨守する層、派閥意識から討幕に参加した上士討幕派、あるいは庄屋同盟的反封建的性格を内包していた勤王黨員大衆が、それぞれの立場から反政府運

動を展開するのである。

こうして明治政府は、広汎な諸階級の統一行動によつて生みだされながらも、その階級的基盤はきわめて狭いものとなりざるをえないのである。

史学研究会 例会

九月廿八日（土）午後一時 京都大学陳列館前出発

臨地講演 宇治平等院見学

講師 上野 照 夫氏

先般解体修理を完成し、面目を一新した宇治平等院について、講演及び見学を行います。往復観光バス利用。参加会費一五〇円。参加御希望の方は会費を添え、九月廿五日までに当会宛御申込下さい。但し満員次第で切ります。当日申込は受付ません。

史学研究会

料が集大成された。この優れた本書に対して一つだけ注文をつけさせて頂くならば、本書に幕府法全体の索引が付けられなかつたことが残念である。「あとがき」に記しておられる如く、索引が付けられなかつたのは刊行期日の切迫等によつて不可能であつたからであり、全く止むを得ない事情によるものであつたのではあるが、しかし望蜀の思を禁じ難いものがある。

三

佐藤、池内両氏の多年にわたる幕府法研究の成果が余すところなくこの兩巻に収められたのであるが、地味な史料批判、考証の累積であるこの史料集編纂の労苦には、我々の想像を絶するものがある。ここ数年來多くの史料集が出版されている。しかしその編纂に當つて特に多大の労力を要求される点においては竹内理三氏の「平安遺文」にも匹敵するものであり、又学界に裨益する点においても戦後の多くの史料集中の双璧と言つても差支ないであらう。(どの史料集においても、良心的な編纂を行おうとすれば非常な努力が必要であり、又それぞれが高い価値を有しているのであるから、それに甲乙をつけようと

する考え方をすることは僭越な行いではあるが。) 本巻に引續いて、第二部の戦国家法、第三部の公家法、本所法、村法等の出版が順調に遲滞なく運ばれることをお祈りすると共に、編纂者の辛苦の成果を利用させて頂くことにあつく御礼の言葉を申し述べたい。(A5四六八頁、口絵写真四葉、岩波書店)

——田中 稔——

バックナムバーのお知らせ
左記の各号に限り、小致在庫いたします。御希望の方は、前金にて当会宛御申込下さい。

()内は定価・送料。特記なきものはすべて定価百円、送料八円です。

三三巻 一号(八〇 千一六) 二号(八〇 千一六) 五号(八〇 千一六)

三四巻 一・二合併号(一四〇 千一六) 四号(八〇 千一六)

三五巻 四号

三六巻 一号・二号・四号

三八巻 二号・三号・四号・五号・六号(二三〇 千一六)

三九巻 三号・四号・五号・六号(二〇〇 千一六)

四〇巻 一号・二号・三号・四号

史学研究会
振替京都五一五五番

中国考古学視察団の訪中

中共政府の招聘により、東大名誉教授原田淑人団長以下八名が、四月十七日から六月一日まで一箇月半にわたつて、西安・洛陽・鄭州・敦煌・長沙・広州などの諸遺跡および各市の博物館や大学を視察した。京都大学からは水野清一、樋口隆康、岡崎敬の三氏が参加した。

兵庫県加西郡北条町・剣坂古墳の調査

七月十四日——二十八日。京大考古学教室小林行雄講師ほか教室員が参加した。横穴石室を主体とした円墳で、石室内の一部はすでに盗掘をうけていたが、女室の両端に棺台と考えられる平石をおいた構造がしられ、須恵器、土師器、鉄製品類など多数の遺物が発見された。

査

香川県三豊郡詫間町・紫雲出弥生式遺跡の調査
八月十六日——三十一日。三十年十二月、三十一年八月につづく第三回の調査。小林行雄講師ほか考古学教室員が参加した。

綾部市栗町・以久田野古墳群の調査

八月十七日——二十七日。京大考古学教室西谷真治助手ほか二名によつて四基の古墳

を発掘した。いずれも経十六米前後の円墳であるが、うち一基では、長さ三・三米、巾〇・八米の木棺を直接封土中におさめ、土師器、鉄器類の副葬品は棺の中ばかりでなく、棺側や棺上にも配置している状態が判明した。

執筆者紹介

- 池田敬正 京都大学大学院学生
- 山岸義夫 群馬大学講師
- 岩見 宏 神戸大学講師
- 高沢裕一 京都大学大学院学生
- 島田正彦 帝塚山学院高等部教諭
- 田中 稔 奈良国立文化財研究所員

編集後記

ことしの残暑はことのほかきびしくて長いようでごさいます。が、秋声の音がなつかしくふるえるこの頃、御手許にこの第五号をおとどけするはこびとなりました。ここにもられた力作を味つていただけれることを一同うれしくおもつております。この雑誌も、まいど申し上げることですけれど、全国の会員からの積極的な御投稿をおまちしております。

なお、御投稿の場合は、枚数は四〇〇字詰五十枚まで、四〇〇字程度の要約を附して下さい。一切は毎奇数月の十日、採否は編集部にお任せねがいます。(永井)

一九五七年八月二日印刷
一九五七年九月一日発行
定価 百円
史 林 (第四〇巻 第五号)

発行所 史 学 研 究 会

京都市左京区吉田本町
京大文学部内
振替京都五一五五番
理事長 宮崎市定
編輯主任 赤松俊秀

印刷所 中村印刷株式会社
京都市下京区七条御所ノ内栗町三九

700 /

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. XL NO. 5

Sep. 1957

CONTENTS

Articles

Development of the anti-shogunate

movement in the *Tosa-han* (土佐藩)Y. Ikeda (1)

Reconstruction and the NegroesY. Yamagishi (27)

On the formation of *yin-ch'ai* (銀差) — change of the statute
labor into the tax in silver in the Ming dynasty —

.....H. Iwami (56)

Book Reviews & News

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(*The Society of Historical Research*)

Kyoto University, Kyoto, Japan